

平成 27 年度 第 1 回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 27 年 4 月 21 日（火）10:00～11:30

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、
近藤委員
〔事務局〕、鈴木企画総務課長、山田学務課長、黒木就職支援室長
福嶋企画総務課長補佐、山本就職支援室長補佐、小松学務課長補佐
欠席者： 佐山事務局長

配付資料

- 資料 1 平成 27 年度 入学者の状況
- 資料 2 平成 26 年度就職状況等
- 資料 3 平成27年度科学研究費等採択状況
- 資料 4 専攻長について
- 資料 5 宮崎公立大学 市民講座について
- 資料 6 広報チラシ宮崎公立大学市民講座 2015「能・狂言入門」（案）

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

報告 1 入学者の状況等について

山田学務課長から資料 1 を基に、平成 27 年度の入学者について、合計 212 名の入学し、男性 57 名 (26.9%)、女性 156 名 (73.1%) であること、県内 100 名 (47.2%)、県外 112 名 (52.8%) であることなどが報告された。また、出身高校所在地別については、入学者は北海道を含め全国各地から来ていること、県別では宮崎県 100 名、鹿児島県 19 名、福岡県 16 名等であったことが報告された。

報告2 平成26年度就職状況等について

黒木就職支援室長から資料2を基に、平成26年度就職内定状況について、就職希望者176名のうち173名(98.3%)が内定したこと、内定先で多かったのは日本郵政、宮崎銀行であったことなどの報告がなされた。

さらに委員からの質問に応じて、海外への就職は、中国2名、アメリカ2名、シンガポール2名、タイ1名であることなどが補足説明された。

報告3 平成27年度科学研究費等採択状況について

鈴木企画総務課長から資料3を基に平成27年度科学研究費等採択状況について、新規は基盤研究(C)1件、若手研究(B)1件、継続は基礎研究(C)1件、研究分担者は基礎研究(A)1件、基盤研究(B)1件、基盤研究(C)3件の合計9件であることなどが報告された。

報告4 専攻長について

鈴木企画総務課長から資料4を基に平成27年度の専攻長については、言語文化専攻長に中山教授、メディア・コミュニケーション専攻長に川瀬教授、国際政治経済専攻長に山口教授が就いたことが報告された。

報告5 市民講座について

林学長から、資料5および資料6を基に平成27年度市民講座について、講座名は「能・狂言入門」、開催期間は平成27年度6月24日～7月29日の毎週水曜日の計6回、会場は交流センター多目的ホール、定員80人など市民講座の概要について報告がなされた。

委員からは、申込みについてはFAXまたはEメールのみとなっているが、受講希望者の状況(FAX・Eメールがないなど)に応じて電話や郵送でも受付を検討してはどうかとの意見がだされ、事務局からは受付は柔軟に対応する旨の説明がなされた。

次回開催日時 6月2日(火) 10:00 開催予定

平成 27 年度 第 2 回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 27 年 6 月 2 日（火）10:00～11:30

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、

〔事務局〕佐山事務局長、鈴木企画総務課長、山田学務課長、
福嶋企画総務課長補佐、小松学務課長補佐

欠席者： 長友委員、近藤委員、黒木就職支援室長

配付資料

- 資料 1 平成 26 年度業務実績報告
- 資料 2 高等学校の学習指導要領改訂に伴う、平成 28 年度一般選抜の入試科目について
- 資料 3 一般編入学試験・私費外国人留学生編入学試験（小論文・個人面接）の実施に関するガイドライン
- 資料 4 一般編入学・私費外国人留学生編入学試験の出願資格について
- 資料 5 平成 27 年度教員選考会議スケジュール（案）について
- 資料 6 教員採用について一理事長への内申のための素案一
- 資料 7 宮崎公立大学の教員組織の編成方針
- 資料 8 平成 27 年度（2015 年度）主な入試広報イベントについて
- 資料 9 平成 27 年度後期開放授業開設科目について
- 資料 10 平成 27 年度 公開講座（自主講座）
- 資料 11 平成 28 年度及び平成 29 年度研究支援年の適用者選考について
- 資料 12 ㈱宮崎日日新聞社との包括的連携協力に関する協定の締結について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

議事 1 平成 26 年度業務実績報告について（教育・研究部門）

佐山事務局長から、資料 1 に基づき平成 26 年度実績について、大学の沿革、組織、学生の状況など大学の概要について説明がなされた。

教育に関する目標、研究に関する目標、学生支援に関する目標、大学改革に関する目標、地域貢献に関する目標、国際化に関する目標などに関する実績と評価について説明がなされた。委員からの教員の授業や意識等の向上をどう図っていくかに関する質問に応じ、FD 研修会等を実施しており今後も継続して実施し向上を図っていく旨の追加説明等がなされた。

審議の結果、了承された。

議事 2 高等学校の学習指導要領改訂に伴う平成 28 年度一般選抜の入試科目について

山口入試部会長から資料 2 を基に、高等学校の学習指導要領改訂に伴い平成 24 年度の高校入学者から外国語（英語）の教科についても科目内容の変更にされ、平成 28 年度一般選抜入試の本学の個別学力検査で指定している外国語（英語）の出題範囲の科目についてはコミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱに変更することが提案された。

審議の結果、承認された。

議事 3 編入学試験の作題・実施ガイドラインおよび編入学試験の出願資格について

山口入試部会長から資料 3 により、平成 28 年度編入学試験について、「アドミッション・ポリシーに基づき、高い学習意欲と能力を有する学生を確保するための作題・面接とすること」という基本方針をはじめ、小論文、個人面接の作題実施に関するガイドラインについて提案がなされた、また、資料 4 により、編入学試験について一般編入学（2 年次）、一般編入学（3 年次）、私費外国人留学生編入学（2 年次）、私費外国人留学生編入学（3 年次）の出願資格について説明があった。また、委員からの質問に応じ一般編入学の出願時に提出を求める資料とそれぞれのスコアなどについて説明がなされた。

委員からの質問に応じ、スコアは目安であることを追加して説明し、確認した。

審議の結果承認された。

議事 4 教員新規採用について

鈴木企画総務課長から資料 6・資料 7 を基に「国際経済学」「国際金融論」担当の教員（1 名）、「国際経営論」等担当の教員（1 名）、「哲学」（西洋哲学）、「倫理学」等担当の教員（1 名）、「メディア・デザイン」等担当の教員（1 名）を平成 28 年度に新規採用することが望ましいことおよびそのスケジュール等について説明がなされた。委員からの質問に応じ、応募者がいない場合の再募集の実施については教員選考会で協議することが確認された。

審議の結果承認された。

報告 1 平成 27 年度 主な入試広報イベントについて

山口入試部会長から資料 8 により MMU キャンパスガイド（8 月 2 日）、MMU プチ・キャンパスガイド（6 月 27 日、9 月 20 日）、夢ナビライブ（大阪会場 6 月 20 日、福岡会場 10 月 17 日）等の主な入試広報イベントについて報告がなされた。

報告2 平成27年度後期開放授業について

宮元地域研究センター長から、資料9に基づき、平成27年度後期に22科目の開放授業を予定し、開放科目の科目名と担当教員について説明がなされた。委員からの質問に応じ、受講料は1科目につき5,000円であること、受講者は前期・後期をあわせて延べ200名程度になることなどが追加で説明された。

報告3 平成26年度公開講座（自主講座）について

地域研究センター長から、資料10により、平成27年度開講予定自主講座の予定の1講座について報告がなされた。

報告4 平成28年度及び平成29年度研究支援年について

企画総務課長から、資料11により、平成28年度及び平成29年度研究支援年について、8月28日を応募締切日とし、9月17日に選考審査会をすることなどについて報告がなされた。

報告5 ㈱宮崎日日新聞社との包括的連携協力に関する協定の締結について

佐山事務局長から平成27年度の後期に開講する「時事問題ガイド」の講師を宮崎日日新聞社から派遣していただく予定であり、それを契機として同社と包括連携協定を締結する予定であることが説明された。

次回開催日時 8月6日（木） 10:00 開催予定

平成 27 年度 第 3 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

審議日：平成 27 年 6 月 23 日、6 月 30 日、7 月 1 日

場 所：各委員への個別説明による審議

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
有馬教務部長、大賀学生部長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 小松学務課長補佐

配布資料：資料 1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規定の改正について

議事 1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規定の改正について

ハワイ大学カピオラニ・コミュニテイカレッジにおいて異文化実習を開始するのに伴い、宮崎公立大学の教育課程を定める規定の別表第 1 の科目名に「異文化実習 I (米国)」を追加することについて事務局から資料に基づき説明を行い、全委員から了承された。

平成27年度 第4回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成27年8月6日（木）10:00～10:45

場 所：管理棟2階 中会議室

出席者：〔委員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、有馬教務部長、
宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 佐山事務局長、鈴木企画総務課長、山田学務課長、黒木就職支援室長
福嶋企画総務課長補佐、小松学務課長補佐
欠席者：林学長

配付資料

- 資料1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について
- 資料2 出席管理システムの導入について
- 資料3 平成27年度後期私費外国人留学生 科目等履修生入学願書提出者
- 資料別冊 宮崎公立大学 大学案内2016（パンフレット・リーフレット）
- その他 平成26年度事業年度評価に係る項目別評価結果総括表（抜粋）
2015 MMUキャンパスガイド 関連資料

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学部長（議長代行）の進行のもと、議事に入った。

議事1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について

有馬教務部長から、資料1に基づき、宮崎公立大学の教育課程等を定める規程に、授業出席に関する不正行為を行った者に関する措置を新たに定めることについて説明がなされた。

同規程の第12条第2項に処分内容を盛り込むこととし、本提案に対して、委員からは特に質問はなく、審議の結果、原案どおり承認された。

報告1 出席管理システムの導入について

有馬教務部長から、資料2に基づき、7月から学務システムの更新に伴い学生証（ICチップ内蔵）の認証による「出席管理システム」を設置したこと、また、一部の講義において同システムの試行を行ったこと、試行後に検討した結果、今年度後期から従来からの紙媒体による出席管理と合わせて、教員の裁量により選択できる等の条件でシステムを導入することとなったことについて報告がなされた。

報告2 平成27年度 後期 私費外国人留学生 科目等履修生について

宮元国際交流部会長から資料3により、平成27年度後期に予定されている私費外国人科目等履修生3名の入学について報告がなされた。

3名とも本年度前期から履修中であること、本件は教授会において承認された旨説明があった。

報告3 大学案内2016について

山田学務課長から「大学案内2016」に基づき、同パンフレットの概要と今回は国際交流の分野で充実を図り、グローバルセンターの稼働、及びハワイ大学2校との学術交流協定締結に伴う内容を追加したことなどの特徴について報告があった。

高等学校での進路指導で活用してもらうため、全国約2,250校に送付した旨説明があった。

その他

- ・佐山事務局長から、当日配付資料により、平成26年度事業年度評価について、評価委員会において教研審承認時から評価結果が一部変更になり、地域貢献・国際化の項目の大項目別評価が「C」から「B」に上がったこと等について説明があった。
- ・山田学務課長から、当日配付資料により、8月2日（日）開催の「2015MMUキャンパスガイド」の結果について概要報告があった。委員から、施設見学時における参加者と本学学生とが触れあうことの意義などについて意見が出された。
- ・委員から授業の出席管理の厳格化に伴う教員の心構えに関することや授業における学生との双方向でのやりとりなど更に充実を図ってもらいたい等の意見が出された。

次回開催日時 8月25日（火） 10:00 開催予定

日 時：平成 27 年 8 月 25 日（火）10:00～11:30

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、有馬教務部長、
宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員

〔事務局〕 佐山事務局長、黒木就職支援室長、福嶋企画総務課長補佐、
小松学務課長補佐

欠席者：林学長、

配付資料

資料 1 一般編入学および私費外国人留学生編入学における既修得単位の
認定に関する指針について

資料 2 宮崎公立大学の基幹演習について

資料 3 基幹演習に係る講演予定等一覧表

資料 4 受入予定の公費交換留学生について

資料 5 平成 27 年度就職内定状況について

資料 6 「保護者説明会」及び「保護者のための就職ガイダンス」のご案内

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて田中学部長の進行の下、議事に入った。

議事 1 一般編入学および私費外国人留学生編入学における既修得単位の認定等に関する指針について

山口附属図書館長から、資料 1 に基づき、一般編入学および私費外国人留学生編入学における既修得単位の認定等について、2 年次編入学の場合は包括認定 30 単位、個別認定 2 単位、3 年次編入学の場合は包括認定 30 単位、個別認定 60 単位をそれぞれ上限とすること、3 年次編入学者の専門演習 I の履修条件は「卒業要件単位 60 単位以上」とすることなどの指針（案）が説明された。

委員からの質問に応じ、「④科目等履修生等で編入学前に本学で修得した単位は上限に含めない。」の意味するところは、編入学前に科目等履修生として本学で修得した単位は他大学での修得単位認定の上限とは別に認める意味であることが追加説明された。

審議の結果、前述の事項を「④科目等履修生等で編入学前に本学で修得した単位は上限に含めず認める。」と一部修正することで了承された。

報告 1 基幹演習に係る講演依頼の状況について

田中学部長から、資料 2、資料 3 に基づき、平成 27 年度から開講している基幹演習について、前期は「中心市街地活性化」「地域に住む外国人への対応」をテーマとして開講したことが報告された。

また、後期は「観光産業の課題」「宮崎の歴史と文化財」「児童虐待の問題」「ネット時代の大人の責任」「青少年の健全育成と非行防止」「学校現場の課題について」「企業誘致について」「グローバル化と宮崎の農業」などのテーマで宮崎市の関連部署に講演を依頼し、その講演の中から学生が課題を発見し現地に行ったり、必要な方から話を聞いたりしながら地域課題を自ら体験して学習し最終的にはプレゼンをして発表することにしており、その準備として現在、担当教員が講演予定者と打合せに入っていることなどが説明された。

報告 2 受入交換留学生について

宮元国際交流部会長から資料 4 により、平成 27 年度後期から受入予定の交換留学生（蘇州大学 4 名、蔚山大学校 2 名、蔚山科学大学校 2 名）について、それぞれの受入期間等について報告がなされた。

委員からの受入留学生に女子学生が多いことについての質問に応じ、受入留学生は留学前に短期研修で本学に来ているが、その時点で女子学生の割合が多いことや派遣元の大学で日本語を学習している学生も女子が多い状況であることなどが追加して説明された。

報告 3 平成 27 年度就職活動状況について

黒木就職支援室長から資料 5 により、7 月末現在の内々定獲得件数が 72 件で平成 25 年度同期の状況に近づいてきたこと、県内の金融機関の選考試験が 8 月に行われていること、公務員関係は 9 月の中旬までには結果が出ると思われることなどの説明がなされた。

また、教職を希望している 15 名のうち 11 名が 1 次試験を通過していること、公務員関係では宮崎県の一般行政職の最終試験に 2 名残っていることなども報告された。

委員からの質問に応じ、蘇州大学文生学院日本語教員として内々定が出ている学生は、交換留学生として蘇州大学に派遣された学生であることが説明された。

報告4 保護者説明会等の開催について

福嶋企画総務課長補佐から 資料6に基づき、本年度の保護者説明会を平成27年11月8日(土)10時30分から開催すること、保護者のための就職ガイダンスを同日の13時から講堂で開催することなどの説明がなされた。

さらに、保護者説明会では、全体会で概要説明、個別相談会で教務、学生生活、留学、就職などについて個別の相談、保護者のための就職ガイダンスでは、講演や学生による就職活動体験発表を予定していることが説明された。

委員からの質問に応じ保護者説明会の主な目的は、本学のことを知ってもらうこと、相談したいことを直接教職員に聞いてもらうことなどであることが追加して説明された。

委員からは、就職ガイダンスの講演に関連して、「いよいよ社会へ出ていくときに自分で情報を求めて、自分で考え、自分の素質も考え、決定していく。それが間違っていれば修正をかけていく。そうしたことが生きる力として大事だと考えているので、講演内容にもそのような内容があればいいと思っている。」との主旨の意見があった。

また、委員から開催時期について「学校を早期に理解いただくという点では1年生の保護者を対象として前期に開催する方向もあるのではないか。」との意見がだされ、事務局から保護者説明会の開催は今回まだ2回目であるが、その都度検証しながらよい方向にもっていきたいとの説明があった。

次回開催日時 9月29日(火) 10:00 開催予定

平成 27 年度 第 6 回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 27 年 9 月 29 日（火）10:00～10:43

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 佐山事務局長、鈴木企画総務課長、山田学務課長、
福嶋企画総務課長補佐、小松学務課長補佐、山本就職支援室長補佐
欠席者：林学長、黒木就職支援室長

配付資料

資料 1 研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正について

資料 2 教員の昇任について

資料 3 平成 27 年度後期開講科目の担当教員一部変更について

資料 4 新学務システムの学外利用（学生）について

資料 5 平成 28 年度宮崎公立大学研究支援年の適用について

資料 6 平成 27 年度就職内々定状況について

資料 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の概要

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

議事 1 研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正について

鈴木企画総務課長から、資料 1 に基づき、研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正について、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」及びガイドラインに基づく「自己評価チェックリスト」の改正に伴い、研究不正防止に対し各研究機関が行うべき体制整備について新たな方針や基準が示されたため、今回規程の改正を行う旨が説明された。

その後、規程の新旧対照表により、「最高管理責任者」、「統括管理責任者」、「コンプライアンス推進責任者」に追加される役割や「調査委員会」の組織や認定、調査結果通知の期限など、変更箇所について説明がされた。

また、施行期日は、改正に係る起案の決裁日であることが追加説明された。

委員からの意見等は特になく、審議の結果了承された。

議事 2 教員の昇任について

鈴木企画総務課長から、資料 2 に基づき、本年度は教授昇任枠が 2 名、准教授昇任対象者が 1 名であることや、教員の昇任に伴う教員選考会議のスケジュール、さらに、最終的に教員選考会議が学長に選考結果を報告し、学長が、適任者を可とした場合に理事長に申し出て、理事長が決定することなどが説明された。

委員からの意見等は特になく、審議の結果了承された。

議事 3 平成 27 年度後期開講科目の担当教員一部変更について

有馬教務部長から、資料 3 に基づき、平成 27 年度後期開講科目の担当教員一部変更について、日本経済論、基幹演習 B、中国政治経済論の担当教員の変更について説明がされた。

なお、中国政治経済論については、資料では未定となっていたが、担当教員が決定したことが説明された。

審議の結果、了承された。

報告 1 新学務システムの学外利用について

有馬教務部長から資料 4 により、新学務システムの学外からの利用について、平成 27 年度後期の成績から期間を限定しての学外からの成績照会や、平成 28 年度履修登録から 4 年生に限り学外からの登録を可能にする方針であることが報告された。

委員からの質問等は、特になかった。

報告 2 平成 28 年度宮崎公立大学研究支援年の適用について

鈴木企画総務課長から資料 5 により、平成 28 年度の宮崎公立大学研究支援年の適用について、阪本准教授から応募があり、研究支援年適用者選考審査会において研究支援年適用者との審査結果を得て、理事長の承認があったことが報告された。

また、研究期間、申請目的についても報告された。

委員からの質問等は、特になかった。

報告 3 平成 27 年度就職活動状況について

山本就職支援室長補佐から資料6により、本年は企業の採用活動が後ろ倒しされたが、9月28日現在の内定獲得件数が127件で、前年度の同期の水準まで回復したこと、大手企業の内定者が多いこと、金融機関、公務員の内定者が多く出ていることなどが報告された。

また、教員については、既卒者、新卒者合せて1次試験に26名合格し、2次試験は既卒者2名が合格していることも報告された。

委員からの質問に応じ、大学院への進学については、例年3～4名が国公立の大学へ進学していることが報告された。

報告4 平成27年度地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）について

佐山局長から資料により、平成27年度文部科学省が公募した平成27年度地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）について、宮崎大学を申請主体として宮崎公立大学他3大学及び宮崎県をはじめとする事業協働機関が参加した「大学間連携による地域ニーズを捉えたみやざき産業人材の育成」が採択されたことが報告された。

さらに、事業の実施体制、事業期間、事業内容や、地元就職率などの目標値について、詳細に説明がされた。なお、今回56件の申請があり、40件が採択されたが、そのすべてが条件付であることも報告された。

委員から、学生は県内に職場があれば、ふるさとで働きたい気持ちを持っており、今回の取り組みの成果に期待したいとの感想が出された。

さらに、今回の事業は、企業も給与・福利厚生など学生がくる環境整備が大事であることを意識しており、宮崎県が一体となって進める事業であり、大学として取り組む価値のある事業であることが報告された。

報告5 定期公開講座開講について

宮元地域研究センター長から、現在、定期公開講座（本年度のテーマ「地域からリスクと文化を考える」）を毎週金曜日午後6時半から開講中であり、ぜひ足を運んでいただきたいことが報告された。

次回開催日時 10月20日（火） 10:00 開催予定

平成 27 年度 第 7 回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 27 年 10 月 20 日（火）10:00～11:00

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 鈴木企画総務課長、山田学務課長、山本就職支援室長補佐
福嶋企画総務課長補佐、小松学務課長補佐
欠席者： 佐山事務局長 黒木就職支援室長、

配付資料

資料 1 他の大学等で修得した単位の認定に関する申し合わせについて

資料 2 宮崎公立大学外国人留学生受入れに関する規程の改正について

資料 3 後援会からの寄付について

資料 4 第 2 3 回宮崎公立大学凌雲祭概要

資料 5 宮崎公立大学保護者説明会（概要）

資料 6 宮崎公立大学における留学の概要

資料 7 平成 27 年度後期開講科目の担当教員の一部変更について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

議事 1 他の大学等で修得した単位の認定に関する申し合わせについて

有馬教務部長から、資料 1 に基づき、学則 第 3 1 条に規定されている「他の大学等で修得した単位の認定について」について、認定となる単位の対象を本学との単位互換協定により修得した単位、高等教育コンソーシアム宮崎単位互換協定により修得した単位とすること。また、編入学前に修得した単位および国外で修得した単位の認定については別に定めることにすることが説明された。

審議の結果、了承された。

議事2 宮崎公立大学外国人留学生受入れに関する規程の改正について

山田学務課長から、資料2に基づき、本学の宮崎公立大学外国人受入れに関する規程（以下「規程」）第6条の入学の時期について、研究生、特別聴講生、科目等履修生の入学の時期を現状に合わせて学年又は学期の始めに改正すること、規程第7条に編入学年次は3年次とされていることについては、「外国の大学、短期大学相当の学校教育（以下「外国の大学等」という。）を卒業した者又はこれに準ずる者又は外国の大学等を2年次修了した者は、学部の第2年次又は3年次に、外国の大学等を1年次修了した者は学部の第2年次に編入学させることができる。」と改正することなどが説明された。

審議の結果、了承された。

議事3 平成27年度後期開講科目の担当教員の一部変更について

有馬教務部長から、資料7に基づき、平成27年度後期開講科目のうち「文化人類学」「韓国語II」「韓国語IV」の担当教員の変更について説明がなされた。

審議の結果、了承された。

報告1 宮崎公立大学後援会からの寄付について

鈴木企画総務課長から、資料3により本学の凌雲会館に学生使用を目的として設置している印刷機の経年劣化が進んで紙詰まりの多発など支障が生じていたところ、宮崎公立大学後援会から新学術交流協定締結記念として印刷機の購入費100万円の寄付の申し出があり、平成27年10月16日に印刷機を設置したことなどが報告された。

報告2 凌雲祭の開催について

山田学務課長から資料4により、本学の凌雲祭について10月31日（土）、11月1日（日）に開催予定であること、テーマは「Story～軌跡と奇跡がつながるページ」とし、イベントの他にゼミの研究発表も実施されることなどが報告された。

委員から学園祭は、祭の部分、研究成果の発表の部分の場、主体的な部分もなくてはいけない、楽しくもなくてはならないし、それらのバランスが大事との意見や、学園祭での経験等をその後に活かすことも大事である旨の意見が出された。

報告3 保護者説明会の開催について

鈴木企画総務課長から資料5により、11月8日に開催予定の保護者説明会について170名の参加の申し出があったこと、午前は全体説明会を開催し、午後は個別相談に応じる予定であることなどの報告がなされた。

委員からの質問に応じ、昨年は160名の参加であったこと、昨年の参加者からは「丁寧に説明していただいてよかった」など概ね好評であったこと、参加者は1年生の保護者が多いことなどが追加して報告された。

報告4 留学の状況等について

山田学務課長から資料6により、公費留学先、公費留学に係る宿舍等や本学からの助成金、異文化実習先、異文化実習費用や助成金、私費留学の状況について、さらに留学生用の災害時・緊急時対応パンフレットについて報告がなされた。

委員から学生の私費留学体験を次の学生に活かせるようにしてはどうかとの意見がだされた。

また、委員からの質問に応じ、受入留学生には、災害時・緊急時対応パンフレットを配布するだけでなく、受入れ時に時間をかけて説明していること、宿舍の消火器の場所は実地に説明していること、緊急時の電話依頼カード（日本語でうまく状況を説明できない留学生の代わりに電話をしていただくよう通行人にお願いするカード）を渡していることが追加して報告された。

次回開催日時 11月24日（火） 10:00 開催予定

平成 27 年度 第 8 回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成 27 年 11 月 24 日（火）10:00～11:20

場 所：中会議室

出席者：〔委 員〕 林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕 佐山事務局長、鈴木企画総務課長、山田学務課長、黒木就職支援室長
福嶋企画総務課長補佐、山本就職室長補佐、小松学務課長補佐

配付資料

資料 1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について

資料 2 留学修得単位の取扱に関する内規について

資料 3 推薦入試の高校別志願者数について

資料 4 平成 27 年度「教員相互の授業見学」の実施について

資料 5 平成 27 年度宮崎公立大学保護者説明会実績報告について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

議事 1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について

有馬教務部長から、現行の宮崎公立大学の教育課程等を定める規程では卒業要件を 66 科目 134 単位以上と定めているが、編入学生の場合、包括単位認定を 1 科目として認定するため、現行規程のままでは単位数を満たしていても科目数を満たさないことになる。そこで同規程「第 13 条 卒業を認定されるために必要な単位数は、別表第 1 の備考欄に規定する単位数に従い、66 科目 134 単位以上とする。」を「第 13 条 卒業を認定されるために必要な単位数は、別表第 1 の備考欄に規定する単位数に従い、134 単位以上とする。」と改正することが資料 1 に基づき提案された。

審議の結果、了承された。

議事 2 留学修得単位の取扱いについて

有馬教務部長から、資料 2 に基づき、留学して修得した単位の認定について、申請者の要件は公費派遣留学生、学術交流協定校等への私費留学生、国費・公費の留学生などが提案された。また、個別単位認定を認め、その申請については編入学時の単位認定の取扱いに準じること、個別認定の上限は通算で 20 科目 40 単位であることなどの提案もなされた。

審議の結果、了承された。

報告 1 推薦入試等の志願者状況について

山田学務課長から、資料 3 に基づき平成 28 年度推薦入試の志願者が 73 名（男 18 名、女 55 名）、一般編入学志願者 2 名、私費外国人留学生編入学 1 名、私費外国人推薦編入学 1 名で、11 月 21 日と 11 月 22 日に試験が実施されたことなどが報告された。

委員からは、推薦枠を含む推薦制度の検討、障がいのある方への受験や授業での配慮、本学の推薦入試等の説明のための各支援学校への訪問などの必要性について意見がだされた。

報告 2 平成 27 年度「教員相互の授業見学」の実施について

有馬教務部長から資料 4 により、「教員相互の授業見学」を 11 月 30 日から 12 月 30 日まで実施し、各教員は 1 科目以上の授業見学を呼びかけていることなどの報告があった。

委員から、授業見学の結果や意見をその後に活かすことが大切であるなどの意見がだされた。

報告 3 保護者説明会について

鈴木企画総務課長から資料 5 により、平成 27 年 11 月 8 日に開催した保護者説明会参加者が 119 組 16 名で昨年（116 組 150 名）より若干増えたこと、個別相談では留学関連が多かったことなどの報告がなされた。

委員からの質問に応じ、参加者の約 4 割が 1 年次の保護者であることが追加して説明された。

委員からは、対象者を 1 年生の保護者に限って別開催するという考え方もあるなどの意見がだされた。

次回開催日時 1 月 26 日（火） 10:00 開催予定

平成 27 年度 第 9 回 公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

審議日：平成 27 年 12 月 2 日・12 月 3 日・12 月 4 日

場 所：各委員への個別説明による審議

出席者：〔委 員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、宮元地域研究センター長、
有馬教務部長、大賀学生部長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕鈴木企画総務課長、福島企画総務課長補佐、小松学務課長補佐

配布資料：資料 1 教員採用について一理事長への内申のための素案

議事 1 教員新規採用について

教員の退職に伴い、「教育の原理と課程」等の科目を担当する後任の教員を採用するため、公立大学法人宮崎公立大学定款第 23 条の (7) (教育研究審議会 審議事項 教員の人事に関する事項のうち、人事の方針及び基準に関するもの) の規定に基づき、教員新規採用について審議を行い全委員から了承された。

平成27年度 第10回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時：平成28年2月23日（火）10:00～11:50

場 所：中会議室

出席者：〔委員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕佐山事務局長、鈴木企画総務課長、山田学務課長、黒木就職支援室長
福嶋企画総務課長補佐、山本就職室長補佐、小松学務課長補佐

配付資料

資料1 平成28年度学年暦（案）

資料2 宮崎公立大学学則（学期）の改正について

資料3 平成28年度開講科目一覧（案）

資料4 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について（開講期）

資料5 宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規の改正について

資料6 宮崎公立大学の学籍に関する学則および規程について（除籍・復籍・再入学等）

資料7 宮崎公立大学授業料等の徴収等に関する規程の改正について（復籍・再入学関連）

資料8 私費外国人留学生の奨学金制度の改正について

資料9 平成28年度前期私費外国人留学生科目等履修生について

資料10 トビタテ留学JAPAN（地域人材コース）にかかる地域協議会「宮崎グローバル人材育成協議会」への参加について

資料11 トビタテ留学JAPAN（地域人材コース）説明会資料

資料12 「平成28年度前期開放授業開設科目について」

資料13 「平成28年度 入学者一般選抜志願者等の状況について」

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

議事 1 平成 28 年度学年暦について

有馬教務部長から、資料 1 に基づき平成 28 年度の学年暦について、前後期それぞれ 15 回の授業の確保や異文化実習の開始時期等を考慮し、前期授業開始を 4 月 7 日、通常の開講日の他に 4 月 29 日（祝）、5 月 14 日（土）、7 月 18 日（祝）を開講日とすること、後期授業開始を 9 月 26 日、卒業論文提出日を 1 月 25 日、冬期休業を 12 月 28 日～1 月 4 日とすることなどが提案された。
審議の結果、了承された。

議事 2 宮崎公立大学学則(学期)の改正について

有馬教務部長から、資料 2 に基づき、現行の学則第 14 条（学期）で前期は 4 月 1 日から 9 月 30 日まで、後期は 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日までと規定されているが、改正により平成 28 年度の学年暦のように必要に応じ学期の期間を変更できるように学則を改正する案が提案された。
審議の結果、了承された。

議事 3 平成 28 年度開講科目について

有馬教務部長から、資料 3 に基づき、平成 28 年度の開講科目について、現行カリキュラムでの開講科目および開講しない科目について各専攻別の専門基礎、基幹科目、展開科目等および平成 28 年度は現行カリキュラムの 1 年次から 3 年次の科目が開講されることの説明がなされた。続いて旧カリキュラムでの開講科目と開講しない科目等について説明がなされた。
委員からの質問に応じ、現行カリキュラムの一番の特徴は、言語・文化、メディア・コミュニケーション、国際政治経済の 3 つの専攻を作ったことであることが追加して説明された。
審議の結果、了承された。

議事 4 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程(開講期)の改正について

有馬教務部長から資料 4 により、現行の宮崎公立大学の教育課程を定める規程の別表第 1 中の開講期の欄に記載している前期および後期について、都合により必ずしも規定している開講期にならないこと等から同表中の開講期の前期・後期の記載を規定からは削除する旨の提案がなされた。
審議の結果、了承された。

議事5 宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規の改正について

有馬教務部長から資料5により、宮崎公立大学学生の授業出席に関する内規においては集中講義での特別欠席を認めていないが、他の講義と同様に1科目につき3回まで認めること並びにそれに伴う内規の改正案について説明がなされた。

審議の結果、了承された。

議事6 宮崎公立大学の学籍に関する学則および規程(除籍・復籍・再入学等)について

大賀学生部長および小松学務課長補佐から、資料6に基づき、除籍・復学・再入学に関連する学則の改正、規定の改正について説明がなされた。まず、授業料未納者に係る除籍について学則に定めるもののほかに、除籍の要件、除籍の手続等を定める宮崎公立大学授業料未納者に係る除籍に関する規程(案)について説明がなされた。

次に復学については、学則第40条の2として復籍に関する規程を追加することおよび復籍の時期、復籍の手続、復籍の制限等を定める宮崎公立大学の復籍に関する規程(案)について説明がなされた。さらに、学則第25条(再入学)を改正して卒業した者は再入学の対象者としないとする案の説明がなされた。次に再入学について、資格、出願、許可、再入学年次等を定めた宮崎公立大学の再入学に関する規程(案)について説明がなされた。また、復籍時および再入学時には教育課程に関する規程をはじめ現行規定を適用するが、必要に応じては当初入学時の規程も適用することが説明された。また、再入学、復籍については入学料を免除することもあわせて説明された。

委員からの質問に応じ、平成27年度前期の授業料未納による除籍者は3名であったこと、授業料の未納者に対して、状況を確認しながら分納、徴収猶予の相談はおこなっていることが追加して説明された。

委員から、授業料の納入にかかる分納や徴収猶予について制度の周知や学生との相談も大切である旨の意見が出された。

審議の結果、了承された。

議事7 宮崎公立大学授業料等の徴収等に関する規程(復籍・再入学関連)の改正について

鈴木企画総務課長から資料7に基づき、宮崎公立大学授業料等の徴収に関する規程の第17条(入学料の免除)について、入学料を免除できる場合に「学生として本学に再入学または復籍の場合」を追加する改正の提案がなされた。

審議の結果、了承された。

議事 8 私費外国人留学生の奨学金制度の改正について

宮元国際交流部会長および小松学務課長補佐から資料 8 に基づき、優秀な私費外国人留学生の確保を目的として、私費外国人留学生入学者選抜の合格者のうち、上位 2 名かつ日本語能力試験 N 1 に合格している者に入学料相当額の奨学金を支給（入学金と相殺）する奨学金制度を新設することとし、それに伴い本学の奨学金規定の改正および MMU 成績優秀者奨学金 D 事務取扱要領の制定について説明がなされた。また、適用を平成 29 年 4 月 1 日以降の入学者から対象とすることがあわせて説明された。

審議の結果、了承された。

報告 1 平成 28 年度前期私費外国人留学生科目等履修生について

宮元国際交流部会長から資料 9 に基づき、平成 28 年度前期私費外国人科目等履修生について、蔚山科学大学から新規 1 名、継続 1 名の出願があり、新規 1 名は、平成 27 年度の公費交換留学生であることなどが報告された。

報告 2 トビタテ留学 JAPAN（地域人材コース）にかかる地域協議会「宮崎グローバル人材育成協議会」への参加について

宮元国際交流部会長から資料 10 に基づき、2014 年から開始されたトビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラムの概要とそのプログラムの中の「海外での実践的な留学」と「国内の地域企業等でのインターンシップ」を組み合わせた「地域人材コース」について説明がなされ、そのために設置が必要な地域協議会「宮崎グローバル人材育成協議会」に本学も参加すること、平成 28 年度は、全体で 6 名を派遣する計画であることなどが説明された。

さらに、事務局から資料 11 に基づき、トビタテ留学 JAPAN の従来の日本代表プログラムの概要と本学からは平成 27 年度 1 名が派遣され、さらに平成 28 年 4 月に 1 名が派遣される予定になっていることが追加して説明された。また、「地域人材コース」において求める学生像は「在籍大学を卒業後、当該地域の企業等に就職する等、地域の発展に貢献することを希望する人材」となっていること、対象となる学生は「当該地域内の高等教育機関に在籍している、当該地域出身である、または当該地域に関心がある等当該地域と関係性のある人材」であることなどがあわせて説明された。

委員からの質問に応じ、当該地域の企業等に就職することは必須ではないことが追加して説明された。

委員からは若い人が地元に残りたいけど地元に残れない現状もあるが、グローバル化の中ではこういった取り組みは良いと考えるし根付いてほしいと意見が出された。

報告3 平成28年度前期開放授業開設科目について

宮元地域センター長から資料12に基づき、平成28年度前期開放授業については、現代英文法など計13科目を開設予定としていることが報告された。

委員からは、外部から受講者の意見には貴重なものがあると思われるので、ぜひアンケート等での意見を授業改善に活かして欲しいとの意見が出された。さらに、開放授業について受講者から好意的な意見も聞いているし、一般の方々に宮崎公立大学の状況などを理解していただく大事な取組みと考えている旨の意見が出された。

報告4 平成28年度 入学者一般選抜志願者等の状況について

山田学務課長から資料13に基づき、一般選抜試験の志願者は前期398名（前年334名）、後期523名（前年380名）、計921名（前年714名）であったことが報告された。

次回開催日時 3月22日（火） 10:00 開催予定

平成27年度 第11回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日時：平成28年3月22日（火）10:00～11:20

場所：中会議室

出席者：〔委員〕林学長、田中人文学部長、山口附属図書館長、大賀学生部長、
有馬教務部長、宮元地域研究センター長、年森委員、長友委員、近藤委員
〔事務局〕佐山事務局長、鈴木企画総務課長、山田学務課長、黒木就職支援室長
福嶋企画総務課長補佐、山本就職室長補佐、小松学務課長補佐

配付資料

資料1 公立大学法人宮崎公立大学 平成28年度計画（案）

資料2 みやざきCOC+（プラス）事業の単位互換に関する協定書等

資料3 「みやざきCOC+（プラス）事業の単位互換に関する協定書」に
基づく単位の認定に関する申し合わせについて

資料4 宮崎公立大学学則の改正について（特別聴講学生）

資料5 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について

資料6 教員の採用及び昇任について

資料7 平成28年度入学試験の実施状況について

資料8 自己点検・評価報告書（未定稿）

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

議事 1 公立大学法人宮崎公立大学 平成 28 年度計画について

佐山事務局長から、資料 1 に基づき平成 28 年度年度計画について、中期計画の折り返しの年度として、中期計画に基づき進行している各種取組みをより円滑に実行できるよう努めていくこと、特にカリキュラム移行 3 年目に加え、学生募集事業に関する新規事業（センター試験を課す推薦入試等）、教育支援に関する新規事業（みやざきCOC+事業等）があることから、それらに特に注力していくとともに、地域に開かれた大学であることを強く意識しながら更に魅力ある大学づくりにつとめていく旨の説明がなされた。

委員からカリキュラムと図書館の関係（新入生と 2 回生、3 回生のそれぞれの図書館に関する傾向の違い等）について質問があり、山口附属図書館長から選書ツアーやアンケートを実施している事などの現状の説明が追加してなされた。さらに、次回以降の教育研究審議会で質問の趣旨に沿って追加して報告するとの説明があった。

また、委員から語学力について、TOIEC 等の外部試験によって評価される英語力の向上を図る手段や雰囲気をつくっていく必要がある旨の意見がだされた

審議の結果、了承された。

報告 1 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）について

山田学務課長から、資料 2 に基づき、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）において、「食品」「ICT」「医療・福祉」「エネルギー・ものづくり」「国際・観光」「公務員・教員」「起業」の 7 つのユニットで構成される宮崎産業人材育成教育プラットフォーム（宮崎県の産業人材育成教育のための「はじまりの駅」）が開始され、授業配信システムを利用した講義も予定されていること等の説明があった。また、それに伴い、宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、都城工業高等専門学校で締結したみやざきCOC+（プラス）事業に関する単位互換協定の内容について報告がなされた。

議事 2 「他の大学等で修得した単位の認定に関する申し合わせ」の改正について

山田学務課長から、資料 3 に基づき、「他の大学等で修得した単位の認定に関する申し合わせ」に、本学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる単位として、「みやざきCOC+（プラス）事業に関する単位互換協定により修得した単位」を追加する改正案の提案がなされた。

審議の結果、了承された。

議事3宮崎公立大学学則の改正について（特別聴講学生）

山田学務課長から資料4により、学則第51条において特別聴講学生は「高等教育コンソーシアム宮崎に加入する大学等の学生で、本学において単位互換に関する協定に基づき授業科目を履修することを志願する者」としていたが、報告2のみやざきCOC+（プラス）事業に関する単位互換協定の締結に伴い、特別聴講学生を「他の大学、短期大学又は高等専門学校等との単位互換に関することを含む協定等に基づき授業科目を履修することを志願する者」に改正する旨の提案がなされた。

審議の結果、了承された。

議事4宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について(科目の変更)

有馬教務部長から資料5により、宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の別表第1について、「近代日本と地域社会」等5つの科目名を追加すること、別表第2について「教育実習事前・事後指導」を1単位、「中学校教育実習を4単位」、「高等学校教育実習を2単位」とすること等の提案がなされた。

審議の結果、了承された。

報告2 教員の採用及び昇任について

鈴木企画総務課長から、資料6に基づき、教員採用については3名の教員を採用すること、教員昇任については1名を助教から准教授に昇任させることが報告された。

報告3 平成28年度入学試験の実施状況について

山田学務課長から資料7に基づき、前期試験の受験者370名、合格者146名、入学手続者111名、後期試験の受験者206名、合格者55名であったこと等が報告された。

報告4 大学基準協会が実施する平成28年度認証評価の受審について

佐山事務局長から、大学基準協会が実施する認証評価の平成28年度受審のために、資料8の内容を主とする自己点検・評価報告書を、平成28年3月末に大学基準協会へ提出する予定である旨の報告がされた。

委員から、評価報告書の冒頭に「高い見識と国際的な視野をもつ人間性豊かな人材の育成」と大学の理念を述べていることに関し、やはり人間性豊かな人材の育成が教育として大切であるとの意見があった。

次回開催日時 4月26日（火） 10:00 開催予定